

Logitec iPod用録音アダプタ

クイックガイド

LIC-iREC03P iPod用Dockコネクタ接続型録音アダプタ

このクイックガイドの表記「iPod」は、特に断りのない限り本製品に接続可能な iPod、iPhone 製品の総称です。

このたびは、ロジテックの iPod 用録音アダプタをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
このクイックガイドでは、本製品の導入手順と基本操作について説明しています。
本書をお読みにになり、正しく導入作業をおこなってください。

本製品は、人命にかかわる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器(医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係)への組み込み等は考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

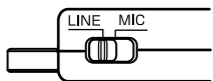
- 講演、演奏など著作権を侵害するおそれがある音声は、主催者の許可を得たうえで録音してください。
- 重要な音声を録音する際は、必ずテスト録音してください。万一正常に録音できなかった場合でも、弊社では一切責任を負いません。

本製品は、Dock コネクタに接続して使用する、iPod 専用高性能マイクアダプタです。音割れを検知するピークインジゲータ、録音レベルを下げるアッテネータを搭載しています。外部入力端子を搭載しており、テープレコーダーなどの外部ソースも録音できます。

iPhone、iPod touch では、マイクを利用するアプリケーションから録音します。

アプリケーション例：「Rectools O2」
リニア PCM レコーダーアプリケーション
提供元：株式会社ユードー
(<http://www.yudo.jp/>)

側面



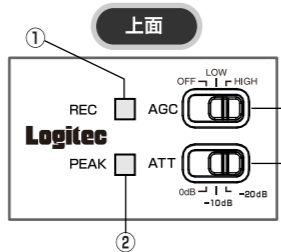
マイクレベル切り替えスイッチ

- ◆ MIC：本製品のマイク、または AUX/MIC に接続した外部マイクで録音する場合に選択します。アッテネータ (ATT)、オートゲインコントロール (AGC) の設定は有効です。
- ◆ LINE：AUX/MIC に接続した外部アンプや、オーディオ機器の音源を録音する場合に選択します。アッテネータ (ATT)、オートゲインコントロール (AGC) の設定は無効です。

ステレオマイク

(L：左チャンネル、R：右チャンネル)
音声を録音するためのステレオマイクです。X-Y マイクを採用しています。奥行きや定位感に優れた自然なステレオ録音ができます。

※本製品には、製品本体のほかに、「スポンジ製ウインドシールド」が同梱されています。風切り音が気になる場合に、ステレオマイクに取り付けてご使用ください。



①録音ランプ (REC)

本製品を iPod の Dock コネクタに接続し、録音可能な状態になると、青色に点灯します。

②ピークインジゲータ (PEAK)

録音中、録音レベルが一定以上になると赤色に点灯します。録音中に常に点灯している場合、音量が大きすぎて音割れする可能性があります。アッテネータ (ATT)、オートゲインコントロール (AGC) またはマイクレベル切り替えスイッチを操作して録音レベルを調節してください。

③アッテネータ (ATT)

録音レベルを下げる(減衰)スイッチです。大音量の音声を録音するときは、オートゲインコントロールと組み合わせて音割れを防止できます。
◆ 0dB：アッテネータを使用しません。
◆ -10dB：録音レベルを 10dB 下げます。
◆ -20dB：録音レベルを 20dB 下げます。

④オートゲインコントロール (AGC)

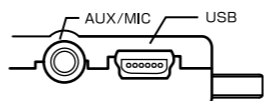
本製品は、内蔵マイクに入力される音量が突然変化したときに、自動的に安定した録音を可能にする、「オートゲインコントロール機能」を搭載しています。このスイッチで、オートゲインの効果調節します。

iPod (iPod は同梱しておりません)

2009年6月現在、対応 iPod は次の通りです。

- ボイスメモ機能で録音
 - iPod classic
 - iPod nano 4th/3rd/2nd generation
 - iPod 5th generation (video) 30/60/80GB
 - iPod touch 2nd*
 - iPhone 3G*/3G S
 - * iPhone OS 3.0 以降での利用に限ります。
 - マイク対応アプリケーション*で録音
 - iPod touch 2nd
 - iPhone 3G/3G S**
- * AppStore から入手してください。
**本文中ではどちらも iPhone 3G と表記しています。

側面



USB インターフェース：Mini-B タイプ (USB)

別売の AC アダプタ*を USB ケーブルで接続することで、iPod を充電しながら録音できます。

*推奨アダプタ：

AVD-ACAU1NWH/ACAU1NBK (エレコム製、USB ケーブル別売)
また、USB ケーブルを利用してパソコンと iPod の通信が可能です。

3.5mm ステレオミニジャック (AUX/MIC)

テープレコーダーやレコードプレーヤーなどのオーディオ機器(外部ソース)を接続します。
※外部ソースを接続すると、自動的に本製品のマイクはオフになります。

録音してみましょう

本製品を iPod に接続し、音声を録音してみましょう。
本製品を使用する前に、最新の iPod ソフトウェアにバージョンアップしておきましょう。



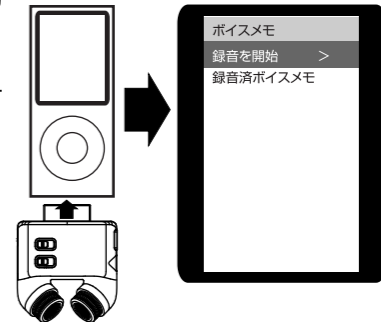
- ・ iPod touch 2nd、iPhone 3G に接続してご使用の場合は、2.2 Software Update の適用が必要です。
- ・ iPod touch 2nd、iPhone 3G に接続してご使用の場合は、iTunes 内の「App Store」から事前にマイク対応アプリケーションを入手し、インストールしておく必要があります。

1 本製品を iPod に接続します

本製品を iPod の Dock コネクタに接続します。自動的に iPod に認識され、iPod の画面に「ボイスメモ」メニューが表示されます。メニューが表示されない場合は、iPod を操作してメニューを表示します。



- iPod の画面は iPod nano 4th を例にしています。それ以外の機種では画面表示が異なります。
- iPod touch 2nd、iPhone 3G の場合、本製品を Dock コネクタ接続したあとに、使用するアプリケーションを起動してください。

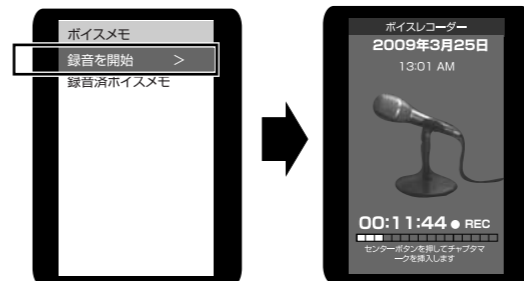


iPod nano 4th では、[品質] の設定はありませんが、他の機種では [品質] の設定があります。[品質] を選択すると、音質を切り替えることができます。「高」⇔「低」と表示されます。

「高」を選択すると、音質は向上しますが、録音データのサイズが大きくなります。詳細は、ウラ面の「音声データ容量と録音可能時間のめやす」をお読みください。

2 録音を開始します

「録音を開始」を選択すると、ボイスレコーダー画面が表示され、録音が始まります。iPod の画面では、録音時間のカウントが始まります。



iPod touch 2nd、iPhone 3G の各録音用アプリケーションの操作方法は、各アプリケーションのオンラインヘルプまたはサポートページをお読みください。

3 録音を停止します

iPod の [再生/一時停止] ボタンを押すと、次の画面が表示され、録音を一時停止します。「停止して保存」を選択すると、録音を終了し、音声データが iPod に保存されます。これで録音は完了です。



「録音を再開」を選択すると、一時停止したところから引き続き録音を再開します。「削除」を選択すると、録音した音声を削除します。

おすすめ設定

次の例を参考に、録音時にピークインジゲータがひんばんに点灯しないように調節してください。



この設定は、正常な録音を保証するものではありません。重要な音声を録音する際は、テスト録音のうえ微調整してください。

ロックなどのスタジオ録音	マイクレベル切り替えスイッチ：LINE
吹奏楽などの室内録音	マイクレベル切り替えスイッチ：MIC/LINE ATT：-10dB/-20dB AGC：OFF
アコースティックギターなど比較的音量の小さい楽器	マイクレベル切り替えスイッチ：MIC ATT：0dB AGC：OFF
会議の録音(会議室)	マイクレベル切り替えスイッチ：MIC ATT：適宜 AGC：LOW/HIGH
講演や授業(講堂)	マイクレベル切り替えスイッチ：MIC ATT：適宜 AGC：HIGH

録音した音声を再生するには

録音したデータは、ボイスメモ画面に録音日時順に表示されます。録音日時を選択し、iPod の [選択] ボタンを押すと、音声を再生することができます。

マイクの向き

自然な定位でステレオ録音するためには、本製品の左右マイクの中心線の延長線上に音源が位置するようにしてください。



マイクレベル切り替えスイッチを「LINE」にした場合、オートゲインコントロール、アッテネータの設定は無効になります。



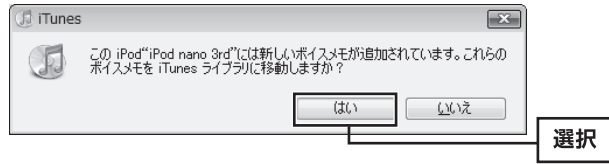
録音設定により、録音データの再生音量は大きく変化します。iPod の音量設定によっては、突然の大音量で耳を傷めることがありますので、ボリュームを絞ってから再生を始めてください。

録音データのパソコンへの転送

iPod に録音したボイスメモは、本製品または iPod に直接接続した USB ケーブル（別売）を経由してパソコンに転送できます。転送には「iTunes」などのソフトウェアを使用します。

① iPod touch 2nd、iPhone 3G の各録音用アプリケーションにおける録音データの転送方法は、各アプリケーションのオンラインヘルプまたはサポートページをお読みください。

1 あらかじめ iTunes をインストールし、お手持ちの iPod を使用できる状態にしておきます。ボイスメモが記録された iPod をパソコンに接続すると、右の画面が表示されます。[はい] をクリックすると、自動的に iTunes に録音したボイスメモが転送されます（iPod からは削除されます）。



2 転送されたデータは、iTunes 上では [ボイスメモ] のフォルダに表示されます。iTunes 上で iPod と iTunes のデータを同期するように設定してある場合は、[ミュージック] のフォルダにもデータが表示されます。これで録音データの転送は完了です。



< [ボイスメモ] フォルダ >

< [ミュージック] フォルダ >

音声データ容量と録音可能時間のめやす

- ・ iPod に録音したデータの容量は、録音品質により変わります。高音質の場合はデータ容量が大きくなります。
- ・ 録音可能時間は iPod のバッテリーの残り容量に依存します。本製品の電源は iPod から供給されますので、録音時は iPod 単体で使用する場合よりも電力を多く消費します。したがって、録音可能時間も短くなります。

■音声データ容量のめやす

	入力方式	ビットレート	サンプリングレート	ファイルサイズ（1分間）	ファイルサイズ（1時間）
高音質	ステレオ	1411kbps	44.1kHz	約 10.3MB	約 618MB
低音質	モノラル	352kbps	22.05kHz	約 2.6MB	約 156MB

■満充電からの録音可能時間のめやす（理論値）

iPod 機種名	録音品質 / 録音可能時間
iPod nano 2nd 2GB	高音質 / 3h、低音質 / 7h
iPod nano 3rd 4GB	高音質 / 4.2h、低音質 / 6.6h
iPod 5th (video) 60GB	高音質 / 3.5h、低音質 / 7h
iPod Classic 80GB	高音質 / 2.1h、低音質 / 2.2h

※ iPod nano 4th は「Apple ロスレス」フォーマットで録音されます。録音品質の切り替えはできません。
 ※「Apple ロスレス」フォーマットは WAV とほぼ同じ品質で、ファイルサイズを WAV の 50～60% に圧縮するフォーマットです。

音声データのフォーマット

ボイスメモは、iPod に WAV または Apple ロスレス形式で保存されます。MP3 などの他のフォーマットに変換する場合は、いったんパソコンにデータを転送してから、iTunes などのソフトウェアでおこなってください。

保証規定

■保証内容

製品送付のマニュアル、文書、説明ファイルの記載事項にしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本保証書に記載された内容に基づき、無償修理を致します。保証対象は製品の本体部分のみとさせていただきます。ソフトウェアなどの添付品は保証の対象とはなりません。なお、本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■保証適用外事項

保証期間中でも、以下の場合は有償修理となります。

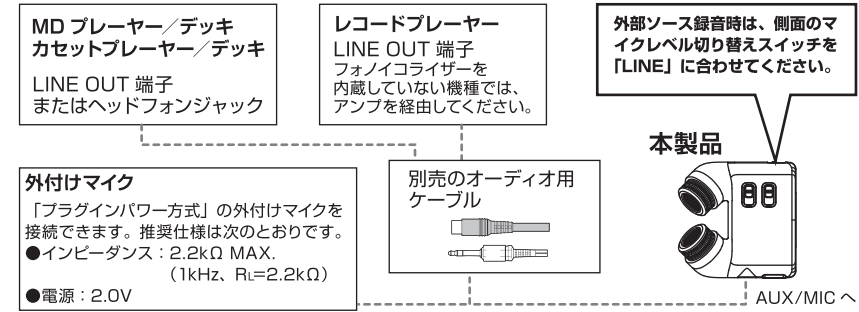
1. 本保証書の提示をいただけない場合。
2. 本保証書の所定事項の未記入、あるいは書き間違いが書き換えられた場合。
3. お買い上げ後の輸送、移動時の落下や衝撃等、お取り扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合。
4. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地災、または異常電圧等による故障、損傷の場合。
5. 接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が生じた場合。
6. 弊社および弊社が指定するサービス機関以外で、修理、改良された場合。
7. マニュアル、文書、説明ファイルに記載の使用法、およびご注意に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合。

■免責事項

本製品の故障または使用によって生じた、お客様の保存データの消失、破損等について、保証するものではありません。直接および間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。

外部ソースからの録音

テープレコーダー、レコードプレーヤー、およびプラグインパワー対応のマイクなどの外部ソースを、市販のオーディオ用ケーブルで本製品の 3.5mm ステレオミニジャック（AUX/MIC）に接続することで、外部ソースの音声を iPod に録音できます。AUX/MIC に外部機器を接続すると、本製品のマイクは自動的にオフになり、利用できなくなります。



外部ソース録音時の注意

- 本製品と外部ソースの出力端子を接続するケーブルは、ご自分で用意してください。
- 録音したデータは、iPod 上では楽曲ではなく「ボイスメモ」として扱われます。楽曲として扱いたい場合は、iTunes に転送して変換し、プレイリストに入れ直してください。
- レコードプレーヤーによっては、「フノイコライザー」を内蔵していない製品があり、直接本製品と接続すると、正常に録音できないことがあります。そのような場合は、アンプを経由して接続してください。
- AUX/MIC 録音時は、オートゲインコントロール、アッテネータが無効になります。
- 外部機器からの入力ボリュームが大きいと、録音した音声が音割れすることがあります。その場合は外部機器のボリュームを下げてください。
- より良い音質で録音するために、USB 充電器を接続せずに使用することを推奨します。

基本仕様

保存データ形式は、iPod touch 2nd、iPhone 3G の場合、録音アプリケーションによって形式が異なる場合があります。

製品型番	LIC-iRECO3P	
保存データ形式	WAV	
	Apple ロスレス (iPod nano 4th のみ)	
録音可能な周波数帯域	100Hz ~ 16000Hz	
指向性	単一指向性	
感度	-47dB (0dB=1V/Pa)	
搭載マイク	Panasonic WM-55A103	
コネクタ形状	iPod 接続用	Dock コネクタ (30ピン) ×1
	ライン入力用	3.5mm ステレオミニジャック ×1
	PC 接続用	USB2.0 (Mini-B) ×1
動作環境条件	温度：0～40℃、相対湿度：5～95% (ただし、結露なきこと)	
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	51.0×52.0×20.3mm (突起部、Dock コネクタを除く)	
質量	約 20g (本体のみ)	

安全上のご注意

■正しく安全にお使いいただくために

本製品を正しく安全にお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

警告 ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

●万一、異常が発生したときは...

本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、iPod を充電中の場合は充電ケーブルをコンセントから抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

●高温のまま放置しないでください。

本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

●車の中には絶対に放置しないでください。

本製品を高温の車内に長時間放置しておくと、破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。

●分解しないでください。

本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

●接続に使用するコードを傷つけないでください。

火災や断線の原因となります。

お問い合わせ先：ロジテック株式会社 テクニカルサポート
 TEL: 0570-022-022 FAX: 0570-033-034 (ナビダイヤル)
 受付時間: 9:00～19:00 (FAX は 24 時間受け付けております)
 月曜日～金曜日 (祝日、夏期、年末年始特定休業日を除く)

※IP 電話、ひかり (光) 電話、PHS 等のナビダイヤルをご利用できない方は、0776-27-0835 (FAX: 0776-22-5610) へおかけください。

ロジテック ホームページ <http://www.logitec.co.jp/>

注意 ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を受ける恐れがある事項です。

●水気の多い場所での使用 / 保管は行わないでください。
 本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。

●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。

●ご使用の際は、接続機器の取扱説明書の指示に従ってください。
 本製品は、パソコンや iPod などと接続して使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

●日本国以外では使用しないでください。
 この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。

■その他：こんなことにも注意してください

- ・衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、直射日光が長時間当たる場所での使用、保管は避けてください。
- ・本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を加えないでください。
- ・温度、湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や直射日光が長時間あたる場所、静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- ・本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。